

2008

新春企画

町長と

町政アドバイザー対談



明けましておめでとうございます。平成20年の輝かしい新春をご家族で迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

単独自立の道を歩んで6年目を迎える本町は「人が輝き 海輝る きらめきつづけるまち岩美」を基本理念に掲げて、第8次総合計画を策定して2年目を迎えました。「住民が自信と誇りを持てる地域づくり」、「協働のまちづくり」を目指して、まちづくりを進めています。

●第8次総合計画を策定して2年目を迎えます。
まず、町長のまちづくりに対する思いをお聞かせください。

町政の伸展のために、町に対し助言をいただく制度として創設した、町政アドバイザー御三方に今回は一堂に会していただき、町長と「岩美町のまちづくり」について対談を行いました。

町長…まず「協働と改革を推進するまち」という項目があります。住民もまちづくりの役割を担ってもらうこと、それから行政の責任と住民の責任をしっかりと自覚しながら、互いに力を合わせるまちづくりをしていくということです。次は「恵まれた環境を守り、安全で安心なまち」で、すばらしい自然環境を保全しながら、福祉や保健、防災など安心して住めるまちづくりを進めようとするものです。3項目は「まちづくり

は人づくり 教育のまち」で、まちづくりの基本はまず人づくりからということだと思います。たくましい子どもたち、ふるさとに思いを寄せてくれるような子どもたちを育てるにはどうしたらいいのかということ、今までも様々な施策をしています。4項目は「豊かな資源を活かしたまち」で、自然景観、食べ物、伝統・歴史・文化、様々な資源をうちの町は持っているの、しっかりと活用して、あるいは連結させながら、観光も人が流れて対流するような町にしたいということです。

